

## 超長期国債先物取引における取引単位及び即時約定可能値幅の見直しについて

2021年8月27日  
株式会社大阪取引所

### I. 趣旨

超長期国債先物取引について、現在の流動性や市場利用者からの御意見を踏まえ、利便性を向上させて取引の活性化を図るため、取引単位及び即時約定可能値幅を見直すこととし、所要の改正を行うこととします。

### II. 概要

| 項 目   | 内 容  | 備 考  |
|---|--|--|
| 1. 取引単位の変更                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 超長期国債先物取引の取引単位を額面1千万円とします。</li> </ul>                                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現行の取引単位は額面1億円です。</li> <li>・ 受渡単位も取引単位と同様に額面1千万円とします。</li> <li>・ 取引単位の変更の時点で現存する超長期国債先物取引（具体的には、2022年6月限月取引、2022年9月限月取引及び2022年12月限月取引）について、建玉が存在する場合には、取引単位の変更に応じた建玉調整（建玉残高を10倍）を行います。</li> <li>・ 中期国債先物取引及び長期国債先物取引の取引単位は現行どおり（額面1億円）とします。</li> </ul>   |
| 2. 即時約定可能値幅の変更<br>(Dynamic Circuit Breaker) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 超長期国債先物取引について、レギュラー・セッション及びクロージング・オークションに適用する即時約定可能値幅を90銭とします。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現行において、レギュラー・セッション及びクロージング・オークションに適用する即時約定可能値幅は30銭であり、オープニング・オークションについては本年9月21日以降に90銭の即時約定可能値幅を適用する予定ですが、今般の見直しにより終日90銭の即時約定可能値幅を適用することとします。</li> <li>・ なお、今後、十分な流動性が確保された場合には、即時約定可能値幅について見直しを行います。</li> <li>・ 中期国債先物取引及び長期国債先物取引の即時約定可能値幅は現行どおり（オープニング・オークション：30銭（本年9月21日以降予定）、レギュラー・セッション：10銭、クロージング・オークション：10銭）とします。</li> </ul> |

| 項 目                      | 内 容  | 備 考   |
|--------------------------|--|---|
| 3. 国債証券先物取引に係る取引の種類の名称変更 | <ul style="list-style-type: none"> <li>超長期国債先物取引を取引単位が額面1千万円の受渡決済型商品とすることに伴い、Large取引・Mini取引という種類の名称を改めます。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>詳細については、別紙をご参照ください。</li> <li>なお、規則上の名称に加え、システム・帳票・ウェブページ等における表記について、取引単位と最終決済形態（受渡決済か現金決済かの別）の混同が起らないよう、適切な表記に変更する予定です。</li> </ul> |
| 4. その他                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>その他所要の改正を行います。</li> </ul>   |   |

### Ⅲ. 実施時期等（予定）

- 2022年4月4日の日中立会及びJ-NET市場における取引から実施します。
- なお、2022年4月4日に終了する取引日の夜間取引（2022年4月1日午後3時25分から2022年4月2日午前6時の間の夜間立会及びJ-NET市場における取引）については、超長期国債先物取引の全限月取引（2022年6月限月取引、2022年9月限月取引及び2022年12月限月取引）の取引を停止します。（長期国債先物取引及び中期国債先物取引は通常どおりの取引を行います。）

以 上

(別紙) 国債証券先物取引に係る取引の種類の変更等について

- 下表のとおり、規則上における国債証券先物取引に係る取引の種類の変更等を行います。

| 取引の種類の変更 |                 | 定義  | 具体的な商品  |
|----------|-----------------|---|---|
| 現行       | 見直し後 (案)        |   |   |
| Large 取引 | <u>現物先物取引</u>   | いわゆる「 <u>受渡決済型商品</u> 」<br>(金融商品取引法第2条第21項第1号に掲げる取引のうち国債証券の <u>標準物に係るもの</u> )    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・長期国債先物取引 (額面1億円)</li> <li>・中期国債先物取引 (額面1億円)</li> <li>・<u>超長期国債先物取引</u><br/>(額面1億円から1千万円へ見直し)</li> </ul> |
| Mini 取引  | <u>現金決済先物取引</u> | いわゆる「 <u>現金決済型商品</u> 」<br>(金融商品取引法第2条第21項第2号に掲げる取引のうち国債証券の <u>標準物の価格に係るもの</u> ) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ミニ長期国債先物取引 (額面1千万円)</li> </ul>  |

- なお、超長期国債先物取引の取引単位の変更に伴い、同じ現物先物取引に区分される中期国債先物取引及び長期国債先物取引との間で取引単位が異なることを明示し、かつ、額面単位の面で同じサイズとなるミニ長期国債先物取引との間で最終決済方法が異なることを明示するために、システム・帳票・ウェブページ等においては、

「超長期国債先物」→「超長期国債先物 (ミニ)」

「ミニ長期国債先物」→「長期国債先物 (現金決済型ミニ)」

といった要領で表示名称を適宜変更する予定です。